

第2回首都大学東京同窓会

評議員会議事録・要約

日 時 平成17年12月1日(木)

場 所 四谷「スクワール」麹町

出席者 評議員66名、委任状50名

計116名 定足数59名を充足

一、開会 二、議長選出

仮議長の稲垣副会長が開会を宣言。議長に平田理事(総務委員長)を推薦、拍手をもって承認。書記を指名し議事にはいる。

三、会長挨拶と活動報告

田中会長から次の挨拶があった。昨年11月6日に3大学の同窓会を統合し新しく首都大学東京同窓会として発足し1年強が経過した。この間役員を中心に関係者の協力と支援により同窓会としての活動を順調に運営できたことに感謝する。

配布資料により平成17年4月1日から11月30日までの次のような活動状況報告があった(配布資料省略)。

(1) 拡大企画財務委員会の設置

この委員会の設置により入会金、維持会費の収入減による財政の構造

的問題について短期・中長期の対策を検討。収入増を図る短期的施策の

主なものは(a)大学当局と折衝の結果、18年度同窓会入会案内を大学入

学手続き案内に刷り込む従来通りの方式に復活する予定。(b)維持会費の

増収を図る策として年1回とした会報発行に加え、臨時会報を18年春に

発行し会員に会費の納入と寄付を依頼する。中長期的対策として広報活

動、組織活動、会費制度を検討中である。

(2) 役員改選作業 旧都立大学関

係、旧科学技術大学、青鳩会関係の評議員、理事、監事、会長の改選案

が機関決定されたこと、今回評議員会上程の同窓会役員改選案が11月16

日の理事会で承認されたこと、会則付則5項により、平成16年11月6日

の設立総会で選任された役員は設立当初の選任であるため、1年後の評

議員会(今回12月1日)で改めて選任し直すことになる。

(3) 新会報T.M.U創刊号が10月1日に発行されたこと。

(4) 学生の課外活動支援の内容。

(5) 八雲サロンの活動実績。

(6) 首都大学東京入学式(4月6

日)の新生入会勧誘について。

(7) 大学祭での同窓会のPR活

動、大学事務局幹部との懇談会について。

四、議題

(1) 第1期決算、(2) 第2期予算

について松本財務委員長が一括説明し審議に付された(詳細は臨時会報

の決算、予算報告書を参照してください)。特記すべき事項は繰越金のうち5千万円を基本金勘定として、

毎期の予算には組み入れないことにし、今後の財政建て直しを進める決

意を示した点にある。会計監査(17年10月26日開催)の

結果、その内容が適正であったと、十河監事が報告。

基本金の扱いについて二、三の質問があり、松本財務委員長、大塚副

会長の説明で了承された。松本財務委員長から、理事会において特別会費徴収案が検討されてい

る旨の報告があった。方法としては

1口5千円の寄付を募る。寄付者を

会報に掲載、あるいは別冊のランキ

ングを発表し、寄付の動機づけをし

たいとの説明があった(寄付依頼に

ついては18年4月発行の臨時会報に

掲載済)。

平田議長からこの決算、予算の2議案についての採決が求められ、拍手多数で可決された。

(3) 評議員、理事および監事改選 平田総務委員長から資料に基づき

評議員候補176名、役員(理事、監事、

会長、副会長)候補者38名が一括上程され審議に付され、結果拍手多数

で可決された。ここで約15分間の休憩。この間に

新理事による臨時理事会が開催された。

(4) 会長、副会長選任 平田議長が評議員会再開を宣言

し、原嶋副会長から臨時理事会において新役員が改選されたことが報告

された(P.7の新役員一覧参照)。

五、会長、副会長退任挨拶。新会長、副会長紹介。

六、閉会 19時45分 会場を隣室に移し懇親会開催。